

進捗状況の概要 ※得られたアウトカムを含む構想の実現の観点から記載すること【1ページ】

【構想名称】PRIME プログラム：世界で活躍できる「実践人」を育成する！

世界で活躍できる「実践人」を育成する PRIME プログラムにより、人を変え、地域を変え、世界を変え、世界に存在感を示す。平成 29 年度から国連の提唱する SDGs 達成への取組を推進し、SDGs 推進研究大学として世界と地域に新たな価値を創造し続け、持続可能な社会の実現に貢献して世界にインパクトを与える。

■ ガバナンス体制の深化

- ・当初の外部人財導入による「先導的推進体制」から、平成 29 年度以降は「目標管理による推進体制」に深化させ、学長以下執行部・全部局が一体的に実行性を高めて PRIME プログラムの内製化を実現させる。
- ・令和元年度より総括副学長等を新設して、運営から経営への転換を図り、SDGs を大学経営の中核に置き、教育・研究・社会実装の全ての大学機能に反映させる「SDGs 大学経営」をスタートさせるとともに、岡山大学未来懇談会等により構成員の合意を広く形成する「共創型ガバナンス（協治）」を推進している。

■ 国際化推進体制

- ・新たな国際業務実施体制の整備：平成 30 年度に海外戦略担当副学長を任命。令和元年度にはグローバル・パートナーズを発展的解消（グローバル人材育成院と国際部に分離）、国際担当副学長及び国際戦略会議を新設して、各部局に国際コーディネーター等を配置し、ワンストップサービス型から部局協働型へ転換して内製化を実現。令和 2 年度には、戦略的に国際機関等の多様なステークホルダーと共創するためのグローバル・エンゲージメント・オフィス（OUGE0）を新設した。

GPS-Academicによる評価（※各スコア50以上の人数の割合）

評価項目	高度実践人	一般学生
思考力総合	78.9%	69.4%
経歴総合	82.3%	73.5%
自己管理	84.0%	66.9%
計画実行	75.6%	69.4%

■ 教育制度改革

- ・高度実践人認定システムの構築：3×3教育の効果を可視化。令和元年度までに累計 832 人を輩出。コモン・ルーブリックを用いた自己評価と GPS-Academic を用いた客観的な評価により、高度実践人の課題解決能力の高さを多面的に検証した。
- ・教育の国際通用性と質保証：令和元年度、本学の「学修者主体の学び」と「教育の内部質保証」の確立に向けて、世界水準の教学マネジメントを先導する Center for Teaching Excellence (CTE) を新設した。
- ・教養教育と語学力の育成：教養教育において SDGs 教育を推進し、令和元年度教養教育科目の約 24%が SDGs 関連科目となる。語学力育成については平成 30 年度から外部検定試験として GTEC（4 技能）を導入し、語彙力がやや低いとの評価が判明し、令和元年度から教養教育において語彙力の強化を目的としたスケジューリング法（マイクロステップ・スタディ）による EdTech を導入して改善し PDCA サイクルを機能。

■ グローバル実践型教育

- ・平成 27 年度から教養教育科目で国際インターンシップ（Co-op プログラム）をスタートさせ、平成 28 年度からは全学部・7 研究科が専門性を活かしたグローバル実践型教育を専門教育科目で展開した。令和元年度には 40 プログラムを実施して、延べ 1,635 人の学生が留学し高度実践人認定者数を増加させた。

■ 学部・学科の境界を越えるグローバル教育

- ・平成 29 年度、海外生と国内生が、英語を共通言語として共に学ぶ学士課程プログラム「グローバル・ディスカバリー・プログラム」を新設。専任教員は 14 人（日本を含め 5 カ国）で、ダイバーシティに富んだ教員組織で運営し、既存の学問分野の枠にとらわれない課題解決型教育を実践している。令和 2 年 3 月末現在 142 人（日本を含め 25 カ国）の多様な学生が在籍中である。
- ・令和元年度、従来のグローバル人材育成特別コース（定員 100 名）に加えて、グローバル人材育成特別コース（学部・学科型）を新設。全学のグローバル教育を推進し、コース生から多くの高度実践人を認定。

■ 医工連携と文理横断による強みの伸長

- ・平成 30 年度、ヘルスシステム統合科学研究科を新設し、受入派遣留学、国際共著率、外部資金等が増加。

■ 国際化を支えるガバナンス改革

- ・平成 26 年度に年俸制の導入後、令和元年度からは新年俸制を導入し、年俸制導入率は平成 27 年度 20.4%から令和 2 年度 48.2%。流動性を高めて優秀な人材を確保し、組織の活性化と国際競争力の向上に寄与。
- ・IR 機能の強化：平成 29 年度、IR/IE 室を新設。令和元年度に本学初の「岡山大学統合報告書」を発行。
- ・「人を変える」仕組の推進：平成 29 年度から次世代を担う若手教職員による岡山大学未来懇談会を開催。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

▶ **グローバル・エンゲージメント戦略で国際的なプレゼンスを向上**

本学の持続可能な開発のための教育（ESD）とSDGsの活動を世界に発信するために、平成30年度に海外戦略担当副学長を任命し、国際機関等との直接的連携を強化。令和元年7月には国連本部で開催された国連ハイレベル政治フォーラムのサイドイベント「ESD for 2030」（ユネスコ主催・日本政府等が共催）で、榎野学長が本学のSDGs大学経営とESD教師教育のアジア太平洋フレームワークの成果を報告。11月にはESD教師教育世界大会を開催し、30カ国150人がESD教師教育のグローバルフレームワークを議論。令和2年1月には本学と国連貿易開発会議（UNCTAD）がSDGs達成のための科学技術イノベーション（STI for SDGs）の人材育成に向けて、世界初となるUNCTADと大学による包括連携協定を締結。4月にはグローバル・エンゲージメント・オフィスを新設して、地球規模の課題と本学の教育研究資源・地域資源をマッチングさせるグローバル・エンゲージメント戦略を加速し、「THE 大学インパクトランキング2020」で世界201-300位（国内9位タイ）にランクイン。6月には国連平和大学（UPEACE）内に設置されている地球憲章国際本部（Earth Charter International）と包括連携協定を締結するとともに、海外戦略担当副学長が地球憲章国際審議会委員に選出された。今後、「地球憲章」を倫理的な枠組みとして「ESD for 2030」と「STI for SDGs」を車の両輪に、ESD/SDGsの活動を統合的に展開して、本学の国際的なプレゼンスを更に向上させる道を拓いている。

▶ **岡山大学を地域に根ざしたSDGs学習の世界拠点に**

本学では、「グローバル実践型社会連携教育科目」や「起業家精神養成プログラム」等の多様なSDGs科目を開講中。令和元年度から1年次生全員を対象に、教養教育必修科目の「岡山大学入門」においてSDGsガイダンス「SDGsの歩き方」を導入するとともに、「岡山大学SDGsアンバサダー制度」を設けて約170人の学生等を任命し、SDGs推進に関わる学生の自主的活動を支援している。平成29年度新設のグローバル・ディスカバリー・プログラムでは、多国籍の学生に対して、英語による「ディスカバリー専修トラック」を設置して、「持続可能性のための超域科学」、「社会イノベーションと起業」及び「文化的多様性とコミュニティ」の科目群を設定し、多様性と既存の学問分野の枠にとらわれないSDGs達成に深く関連する科目群で課題解決型教育を提供している。また、平成27年度以降国立大学初のパートナーとして世界ユースサミット「One Young World」へ毎年2人の学生代表を派遣し、令和元年度のロンドン大会では本学学生が世界ユース代表の一人として選出され、グローバルステージに登壇した。平成30年度新設のヘルスシステム統合科学研究科は、SDGsゴール3等に関するニーズ・ドリブンの課題解決型大学院であり、大学院の国際化を牽引している。留学生については、平成30年度に「ライデン大学日本語日本文化研修プログラム」を新設し、令和元年度には全米トップレベルの留学生26人を受入れる「米務省クリティカル・ランゲージ・スカラシップ（CLS）プログラム」に国立大学として初採択され、県内25の自治体・企業等の協力を得てSDGs学習を提供する短期受入プログラムを実施した。以上のように、本学はSDGsを通して、岡山をSDGs学習の世界拠点とするべく地域に根ざした世界とのパートナーシップを構築している。

▶ **世界水準の教学マネジメントを担うCenter for Teaching Excellence (CTE)**

令和2年3月に、本学における「学修者主体の学び」と「教育の内部質保証」の実現に向けて、世界水準の教学マネジメント体制を構築するため、Center for Teaching Excellence (CTE) を、海外における高等教育の経験豊富な教員を招聘して、全学教育・学生支援機構内に新設した。CTEは、組織的な学修者主体の教学マネジメントに取組み、世界水準のアウトカム基盤型教育へのシフトチェンジと実践的で効果的な教員能力開発（FD・SD）を担って、教育の内部質保証を確立するとともに、コロナ禍対応によるオンライン教育の導入や大学院教育の学位プログラム化の教学マネジメントシステムを開発・先導している。

